



スズキ ジムニー マツダ AZオフロード

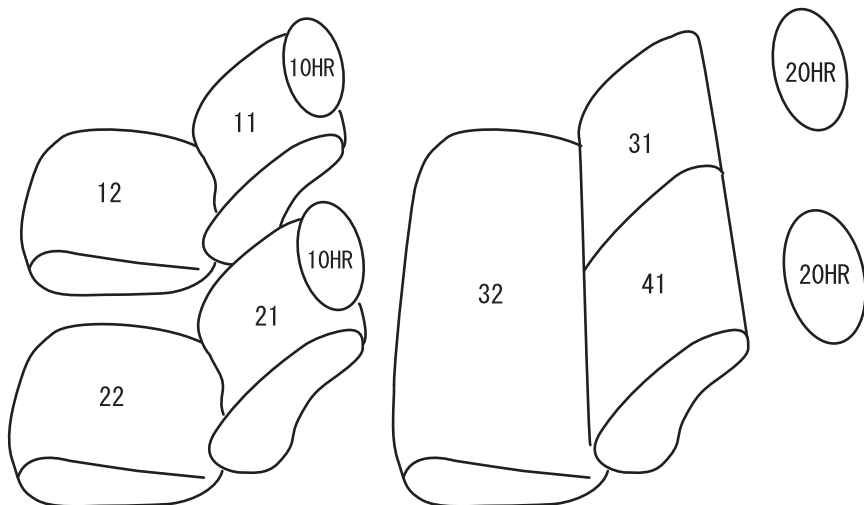
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

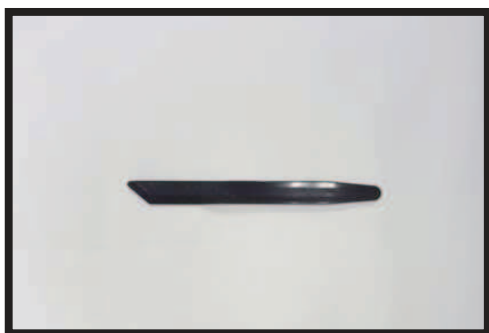
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

6009/6010

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名
へら

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

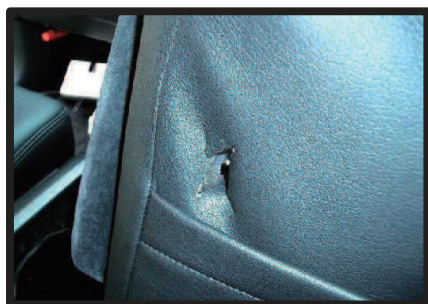
TEL 072-330-8000

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



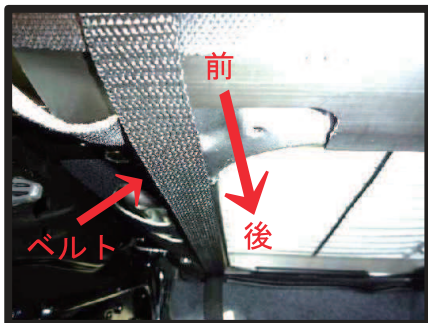
①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



④入れ込んだ生地をシート背面側から引き出してマジックテープをシートの底面に直接固定します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤カバー前側に付いているベルトを後側へ通します。



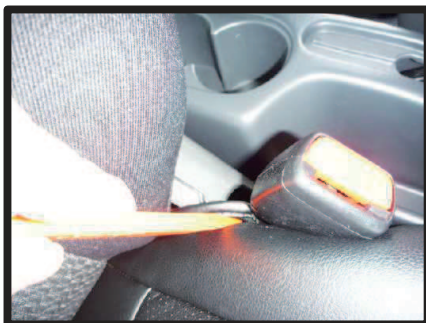
③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



⑥後側から引き出したベルトとバックルを固定します。
※詳しい固定方法は巻末の「ベルトの通し方」をご覧ください。



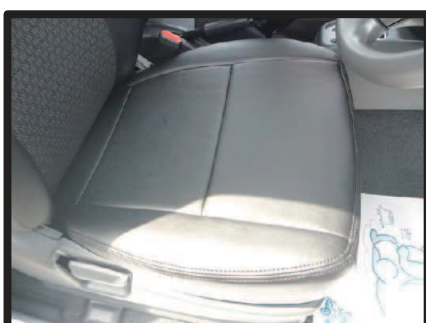
⑦カバー外側面の生地をヘラ等を使用してシートと台座の隙間へ入れ込みます。



⑩シートベルトバックル周りの生地をシートと台座の隙間へ入れ込みます。



⑧リクライニングレバー周りの生地をシートと台座の隙間へ入れ込みます。

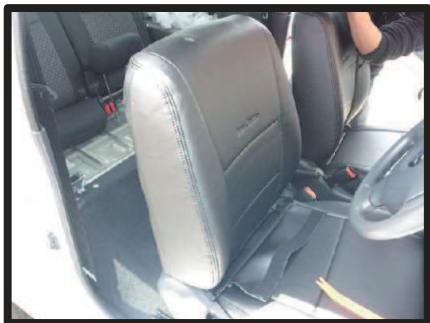


⑪カバーのラインを整えて1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様にに取り付けます。



⑨内側面の生地も同様にシートと台座の隙間へ入れ込みます。

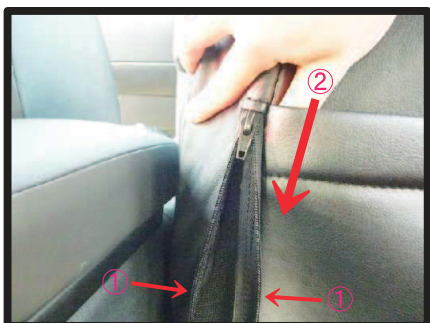
1 列目背もたれ



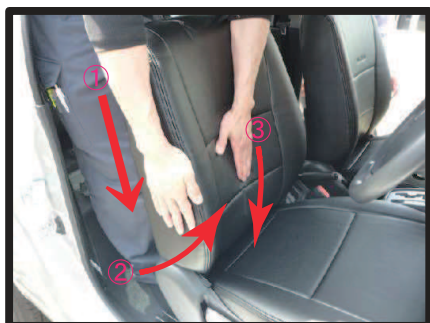
①カバー背面に付いているファスナーを開いた状態でシートの肩口の生地が張るように全体にかぶせます。



④生地伸びを利用して台座全体を取り出します。



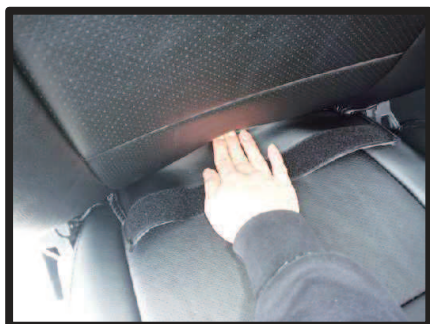
②カバーのラインを整えて背面のファスナーを閉じます。
①→②の順序でファスナーを寄せながら閉じるとスムーズに閉じれます。
※図は別車種



⑤①→②→③の手順で背もたれ側面の生地をシートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返して下さい。



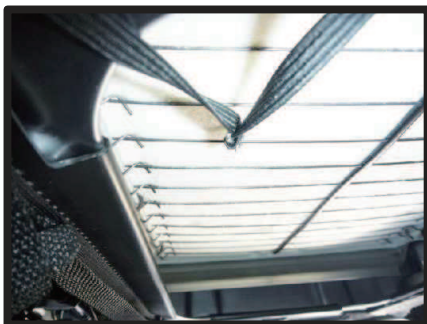
③ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず、片方の角に引っ掛けるようにします。



⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



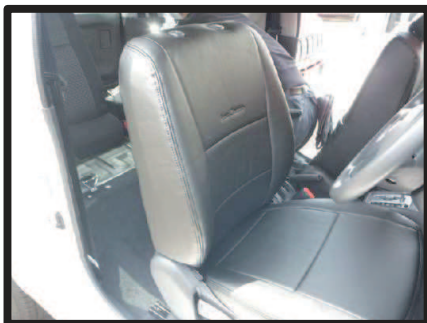
⑦ 入れ込んだ生地をシート背面側から引き出します。



⑩ S字フックを座面裏の金属部分に固定します。ゴムの伸びに少し余裕がある程度のところで固定します。



⑧ 引き出した生地を背もたれの背面下に付いているマジックテープに固定します。



⑪ カバーのラインを整えて1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑨ 背もたれ背面下に付いている2つのゴムにS字フックを結びます。
※詳しい固定方法は巻末の「S字フックの取り付け方」をご覧ください。

2列目座面

※年式が平成22年9月以前の車は少し形状が異なりますが同様に取り付けます。



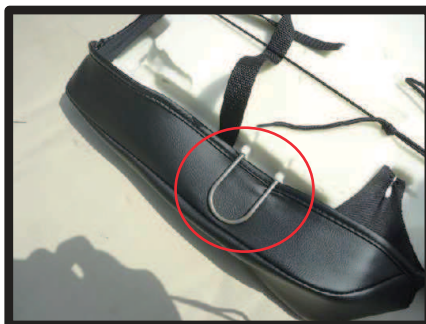
- ① 2列目座面のカバーを取り付ける為にシートを取り外します。シートは図の矢印位置にフックで固定されています。フックの位置あたりを持ち上げて、シートを車体から外します。



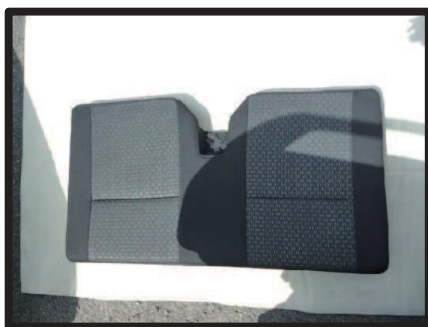
- ④ シートの後ろ側にカバーをかぶせます。



- ② シート後ろ側の固定を外す為に、シートを矢印の方向へ引いて外します。

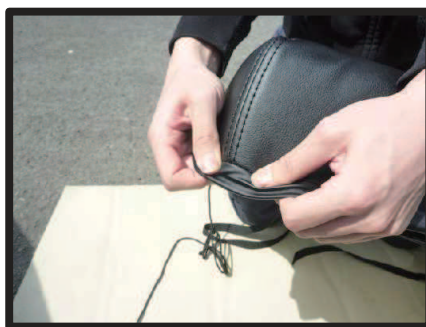


- ⑤ 図の○部分の金属部がカバーの外側になるようにかぶせます。



- ③ シートを車体から運び出します。十分なスペースが確保できるところで作業を行ってください。

※シートを運び出す際は車体にキズを付けないようにご注意ください。



- ⑥ シートのラインからずれないように前側にカバーをかぶせます。



⑦一度表を向けてカバーのラインを整えます。



⑩シートの表を向けてシートベルト収納部分の形を整えます。
※年式が平成22年9月以降の車のみ。



⑧シートを再び裏返し、ベルトを固定します。
※詳しい固定方法は巻末の「ベルトの通し方」をご覧ください。



⑪カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。
※2列目背もたれのカバーを取り付け後に座面を車体に戻します。



⑨ヒモを結びます。
※詳しい固定方法は巻末の「ヒモの結び方」をご覧ください。



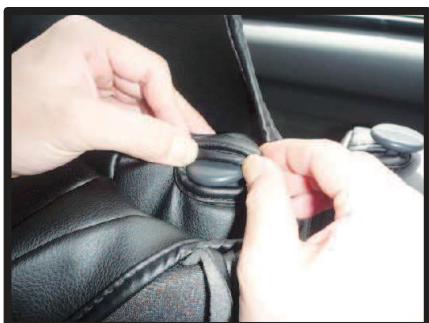
⑫2列目座面を車体に戻すときは図の○位置の金属部に5ページ⑤の○で示した金属部分を引っ掛けるようにして戻します。

2列目背もたれ

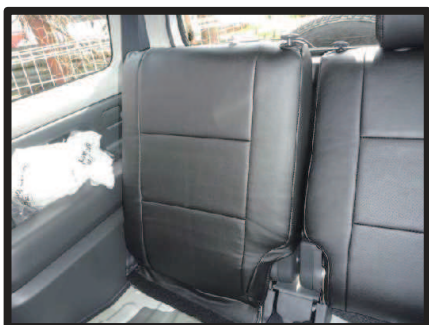
※2列目ヘッドレストがある車には穴開け加工が必要



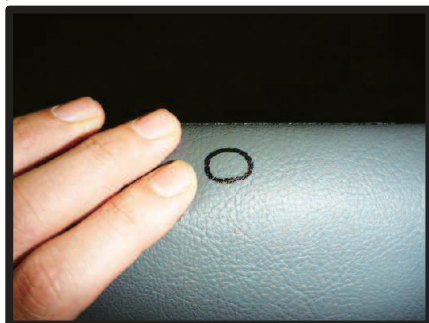
①カバーを半分ほど折り返し、シートのラインに合わせてかぶせます。肩口の生地が張るようにしっかりとかがせて下さい。



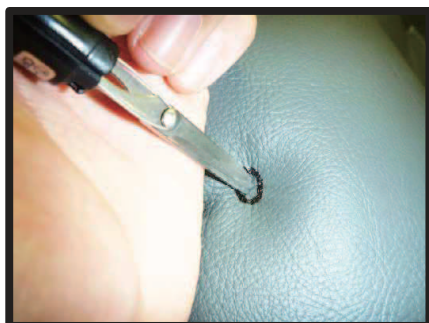
②リクライニング用のレバーをカバーの加工穴から取り出します。



③シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げ、シート全体にかぶせます。



④2列目ヘッドレストがある車には背もたれ上部に穴を開ける加工が必要です。指でヘッドレストの台座の位置を確認して台座の穴に沿ってペンで印を付けます。



⑤ペンで付けた印の中心にはさみ等で穴を開けます。
※シートに穴を開けてしまわないように充分注意して作業を行って下さい。



⑥直径が20mm程の円形になるようにはさみ等で加工します。
※一度に大きな穴を開けてしまうと取り付け後に穴が見えてしまう場合がありますので少しづつ作業を行って下さい。



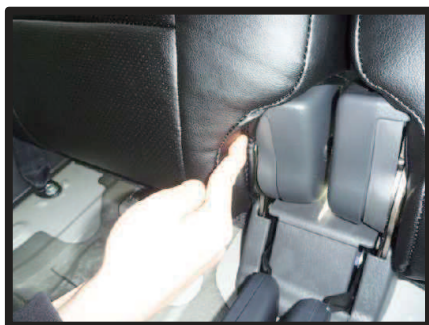
⑦ 1列目と同様にしてヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



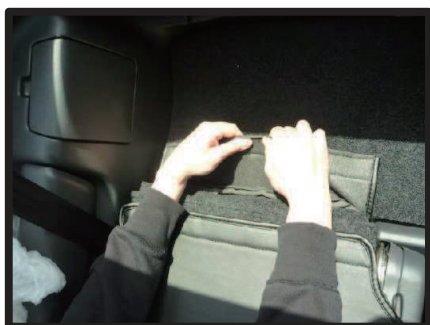
⑩引き出した生地を背もたれの背面下に付いているマジックテープに固定します。



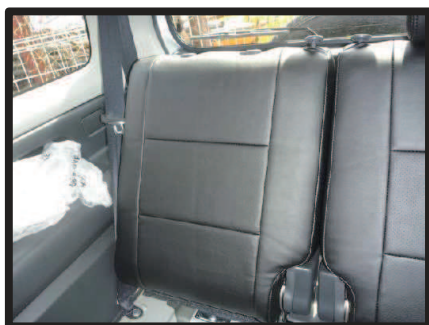
⑧背もたれ下部の生地を後ろ側へ入れ込みます。



⑪カバー内側面下部の生地を入れ込んで形を整えます。



⑨入れ込んだ生地をシート背面側から引き出します。



⑫カバーのラインを整えて2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1列目ヘッドレスト



①カバーを半分ほど裏返した状態でヘッドレストの先端までかぶせます。



④フックを固定するとヘッドレストの底面は図のようになります。



②左右交互に少しずつカバーを引き下げていきます。ヘッドレスト本体を入れ込むように押さえるのがコツです。



⑤カバーのラインを整えて1列目ヘッドレストの完成です。



③ヘッドレストをシートから取り外し、底面のフックを固定します。
※詳しい固定方法は巻末の「プラフックの固定」をご覧ください。

2列目ヘッドレスト

※2列目ヘッドレスト付き車



- ①カバーの前後を確認します。
図の○で示したフック状のパーツが
付いている方が前側です。



- ④1列目ヘッドレストと同様に底面の
フックを固定します。



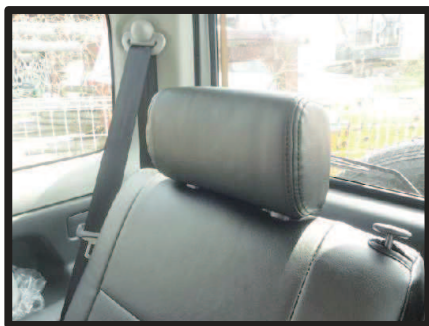
- ②図の○部分のヘッドレストの角にカ
バーの角を引っ掛けます。



- ⑤フックを固定するとヘッドレストの
底面は図のようになります。

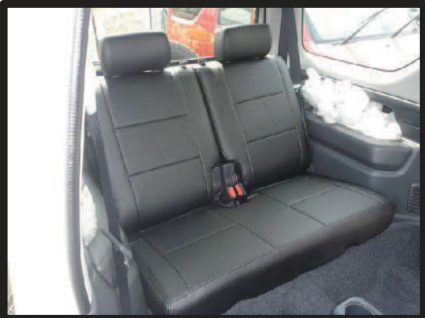
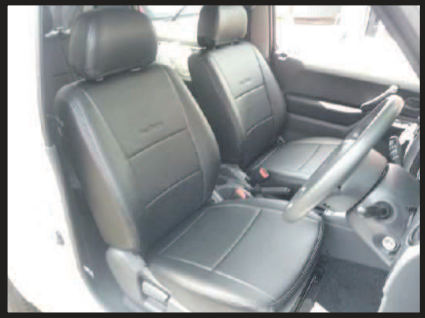


- ③カバーを矢印の方向へゆっくりとか
ぶせていきます。



- ⑥カバーのラインを整えて2列目ヘッ
ドレストの完成です。

完成图



プラフックの固定

※図は、ヘッドレストを例にしています



- ①ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラスチックと平らなプラスチックを使用して固定するものがあります。

※例：ヘッドレスト



- ②プラフックの固定方法は、カギ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



- ③間違った固定方法です。平らなプラスチックのみをカギ状のプラスチックに引っ掛けるだけではしっかり固定出来ません。



- ④正しくプラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。

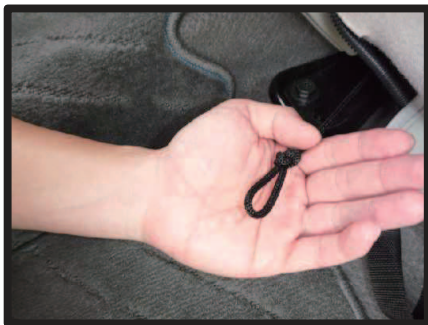


- ⑤間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に、図のように平らなプラスチックの縫製糸が見えてしまいます。

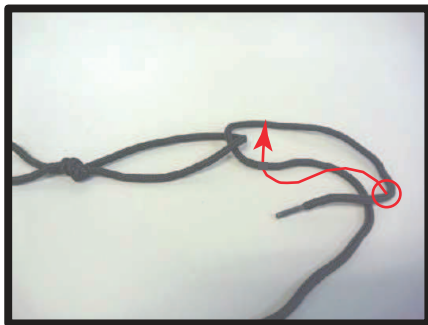


- ⑥例で使用したヘッドレストの場合はこのようになります。

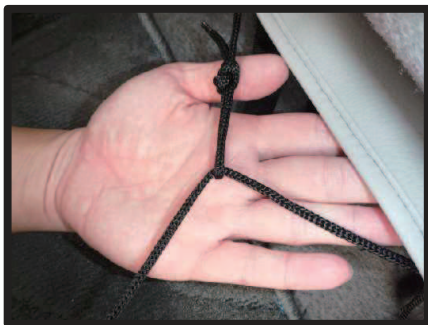
ヒモの結び方



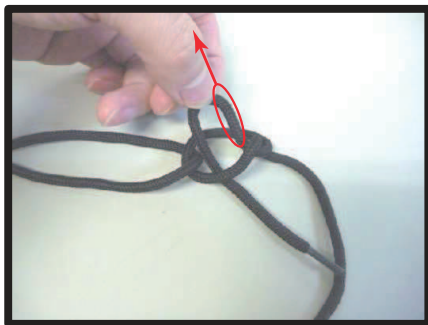
①カバー両側面に付いているヒモの一方
方で、図のような輪を作ります。



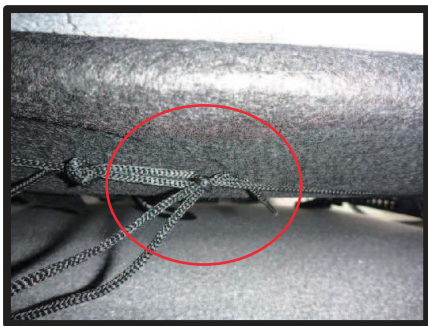
④ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを
(図の右側) 輪のようにし、矢印部分
をつまむようにして輪に通します。



③①で作った輪に、もう一方のヒモを
通します。



⑤通したヒモの○側を引っ張ると、ヒ
モが結ばれます。
※ヒモの先端側を引っ張ると、ヒモは
結ばれません。



③通したヒモで、シート下回りを引き
絞りに、結び留めます。

※ヒモを強く引っ張りすぎると切れる
恐れがありますのでご注意ください。



⑥正しくヒモを結び留めると、このよ
うになります。
この状態でヒモの先端側を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方
になります。

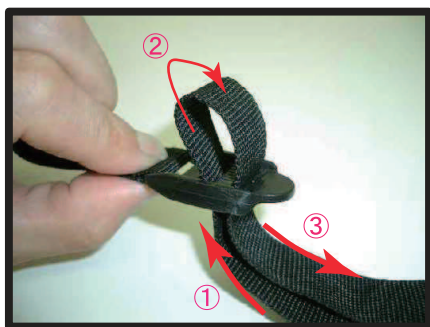
ベルトの通し方



①カバーに付いているベルトを、バックルが付いている生地側に引き出します。



②バックルにベルトを通し、引き絞る事で、カバーが固定されます。

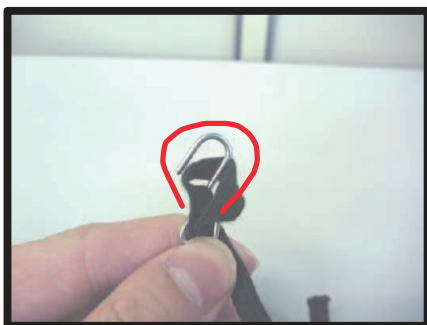


③ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締まり固定されます。
※強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますので、ご注意ください。

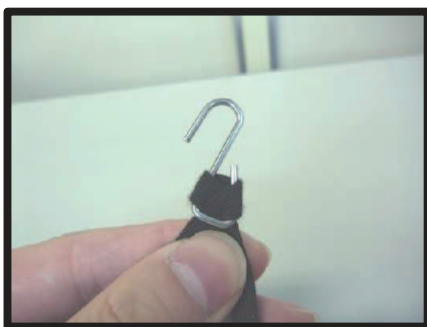
S字フックの取り付け方



①ゴムとS字フックの取り付け方は、始めに図のようにS字フックにゴムを通します。



②通したゴムを、図の赤線のようにしてS字フックにかぶせます。



③かぶせたゴムを引き絞る事で、図のようにS字フックがゴムに固定され、外れにくくなります。

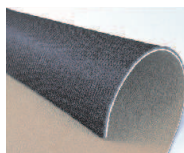


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

